

平中貫一先生のご退職にあたって

平中貫一先生は昭和52（1977）年に立命館大学法学部を卒業された後、昭和54（1979）年に同大学大学院法学研究科を修了されました。昭和56（1981）年に立命館大学大学院法学研究科博士課程の途中で山口大学経済学部の助手として採用され、翌年に講師、昭和59（1983）年に助教授、平成4（1992）年に教授に昇任されました。経歴からわかるように、平中先生にはこれまで38年の長きに渡り山口大学一筋に研究・教育に尽くしていただきました。

山口大学経済学部に経済法学科が設立されたのが昭和55（1980）年ですから、平中先生には経済法学科設立当初よりずっと支えていただいたこととなります。

平中先生のご専門は民法で、特に契約法に関するスペシャリストとして学内だけでなく、学外、特に山口県の行政に関する委員を沢山お引き受けしていただきました。消費者が不利な契約で不利益を被らないよう、また、不当な債権取り立てなどがないようなど、市民目線からみた数々のご研究は平中先生のお人柄を表しているものでしょう。

教育では、共通教育で「経済と法3 [民事法入門]」、通常講義として、「旅行契約と約款」、「民法Ⅳ」などをご担当いただきました。また、大学院においても「民法研究」、「医療訴訟研究」をご担当いただきました。

社会活動として、山口家庭裁判所 家事調停委員、山口県公害審査会委員、山口県行政不服審査会委員、山口県収用委員会委員、山口県消費者苦情処理委員会委員、山口県条例審議会委員、山口県弁護士会綱紀委員会委員、山口県労働委員会委員、山口市経済産業部指定管理者候補者選定委員会委員、山口市経済産業部

指定管理者候補者選定委員会委員と数えきれないほどの貢献をしていただきました。

さらに、今年度同じくして定年を迎えられる中田範夫先生とは長年にわたるテニス仲間であり、平成24（2012）年4月～平成26（2014）年3月まで中田学部長を支える副学部長として盟友と共に経済学部を支えていただきました。平成28（2016）年には観光政策学科長、平成29（2017）年から退職直前まで学長特命補佐としてハラスメント防止・対策のご担当をしていただきました。また、教授に昇任後まもなくから、教務委員会委員長、施設住宅委員会委員長、学生委員会委員長、就職支援委員会委員長など要職を担っていただきました。

平中先生の穏やかな諭すような口調で、的確に物事を見抜く目でご指摘いただいたことは、私自身強く印象に残っています。これも山口大学経済学部ひとすじに、さらには経済法学科の立ち上げから学科再編まで見守っていただいた深い愛情の為せる技だと強く感じている次第です。

どうかこれからも同じ愛情で元副学部長として山口大学経済学部を見守っていただきますようお願い申し上げます。最後に平中先生の今後のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、巻頭言とさせていただきます。これまでありがとうございました。

平成31年3月31日

山口大学経済学部長 兵 藤 隆